

DF-50

このマシンは広範囲に拡散する透明感のあるわずかに白いスモーク状の「もや」を発生します。それは空気と混ざりながら、内蔵されているファンの力と大気対流によって会場の隅々まで拡散して行きます。市民会館クラスの大ホールで1台で約1時間の運転で、客席の隅々まで行き渡ります。この「もや」は長時間消える事がなく、空調の排気がなければ、2~3時間は持続します。

1. けむくない

このマシンのスモークはけむいという感じがありません。視覚的にはけむっていても、目にも咽にも違和感はありません。

2. 照明のビーム

うすくてもビームが強調されてはっきり見えます。レーザー光線は驚きです。

3. 透過率がよい

光の透過率が良いので、映写等の効率をあまり左右しません。ビームがくっきりしながら、舞台の隅々まで見えます。

4. からだにやさしい

専用液のホワイトミネラルオイルは、化粧品のベースや食品加工機械の潤滑油に使われています。

5. 液が付着しにくい

粒子が1ミクロンと極小の為、通常では付着しませんが、近くにファンがあった場合、その羽根に付着します。乾いた布で拭き取って下さい。付着量が多い場合には、スモークの量を減らして御使用下さい。

6. 燃費が良い

1リットルで16時間、1ボトル（約4リットル）で約64時間運転出来ます。

7. 取り扱いが簡単

電源を入れるとすぐに運転を開始します。スタンバイの時間はありませんし、空焚きしても安心です。

* 使用のポイント

炊きすぎない事。ある程度濃い場合、近くにムービングライトがあると、そのファンブレードに当たってスモークが液に還元します。（ある程度以上はいくら追加しても、視覚効果上濃くなりません）

DF-50Jの仕様

専用液 Diffusion Fluid/High-Performance Fluid
（専用ホワイトミネラルオイル・油性）

液使用量 1リットル/16時間

満タンでの運転時間 2リットル/32時間

運転上での保守点検 液量点検のみ

臭気 無臭

騒音 防音型フライトケースにより低騒音

重量 本体/16 Kg

フライトケース/8 Kg

本体寸法 H285 x W250 x D484mm

電源 100V 4.6A 50/60Hz（日本専用仕様）

空焚きにして 液がなくなっても24時間程度は問題ありません

平成 5年 5月13日

〒143

東京都大田区大森中1-21-2

アンシャンテ スヤマ2F

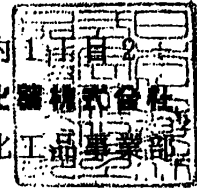
有限会社スパーク

畑 中 俊 幸 殿

東京都千代田区丸の内1-1-1

日本化薬株式会社

化工品事業部



危険性評価試験の試験結果報告書

御依頼いただきました試験の結果を下記の通りご報告いたします。

記

I. 試験試料

試料 : ディフュージョンDF50 生成スモーク

II. 試験項目

: 生成スモークへの着火試験

III. 実施年月日

平成 5年 5月13日

IV. 実施場所

山口県厚狭郡山陽町大字郡2300番地
株式会社カヤテック厚狭事業所

III. 試験立合者

有限会社スパーク

畑 中 俊 幸 殿

IV. 試験従事者

株式会社カヤテック厚狭事業所

金子 良昭, 相本 博, 勝原 幾生.

V. 試験の目的

ディフュージョンDF50を使用して舞台その他に生成させるスモークが各種の火源によって着火・燃焼するか否かを確認することを目的とする。

VI. 点火源の種類

点火源として下記の物を使用した。

- ①：ブンゼンバーナー（ブタンガス使用したもの）
- ②：白灯油の燃焼炎（綿繊維含浸灯油の燃焼）
- ③：ニクロム線（1000℃に白熱したもの）

VII. 試験設備の概要

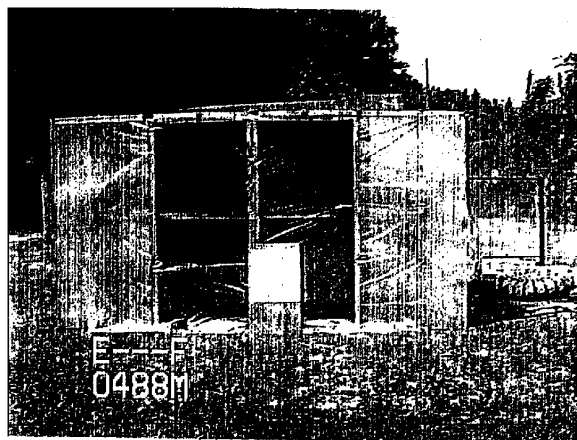
添付図および写真1に示す。

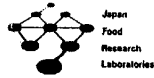
V. 試験結果

着火源	点火源の位置（吹き出し口からの距離）			
	0.5 m	1 m	3 m	
ブンゼンバーナー	着火しない	着火しない	着火しない	
灯油	着火しない	着火しない	着火しない	
ニクロム線	着火しない	着火しない	着火しない	

それぞれの結果に対応する写真を以下に添付した。

写真1：試験設備





第 46040223-001 号
平成 05年 04月 15日

分析試験成績書(副)

依頼者 有限会社 スパーク
検体名 ディフュージョンフルード
付記事項 *****

平成 05 年 04 月 02 日当センターに提出された上記検体について分析試験した結果は次のとおりです。

財団法人

日本食品分析センター

東京本部 〒151 東京都渋谷区神宮前1丁目52番1号
大阪支所 〒564 大阪府吹田市豊津町3番1号
名古屋支所 〒460 名古屋市中区栄4丁目5番13号
九州支所 〒812 福岡市博多区下草紙町1番12号
多摩研究所 〒206 東京都多摩市永山6丁目11番10号

分析試験結果

分析試験項目	結果	検出限界	注	分析方法
粘度	60.3cSt		1	
比重	d ₄ ⁴ 0.8593			ピクネーター法
引火点	202℃		2	C.O.C.法
鉄	検出せず	1ppm		原子吸光光度法
ヒ素(As ₂ O ₃ として)	検出せず	0.1ppm		DDTC-Ag吸光光度法
鉛	検出せず	0.05ppm		原子吸光光度法
ナトリウム	検出せず	0.01ppm		原子吸光光度法
リン	検出せず	0.05ppm		蛍光光度法

注1. 測定条件；粘度計，カロテジ粘度計；温度，25℃

注2. 危険物の試験及び性状に関する省令（平成元年自治省令第1号）によった。

以 上

第46040223号-別添

受付番号 46040223 有限会社 スパーク

検体名 ディフュージョンフルード

試験日 1993年 4月13日

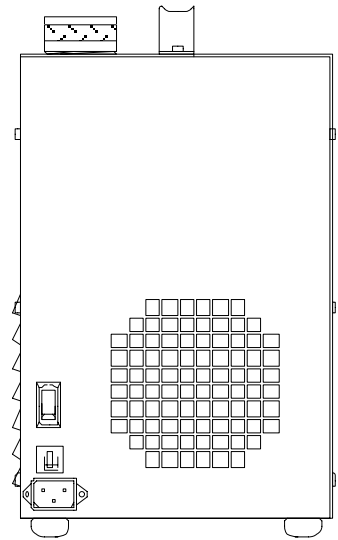
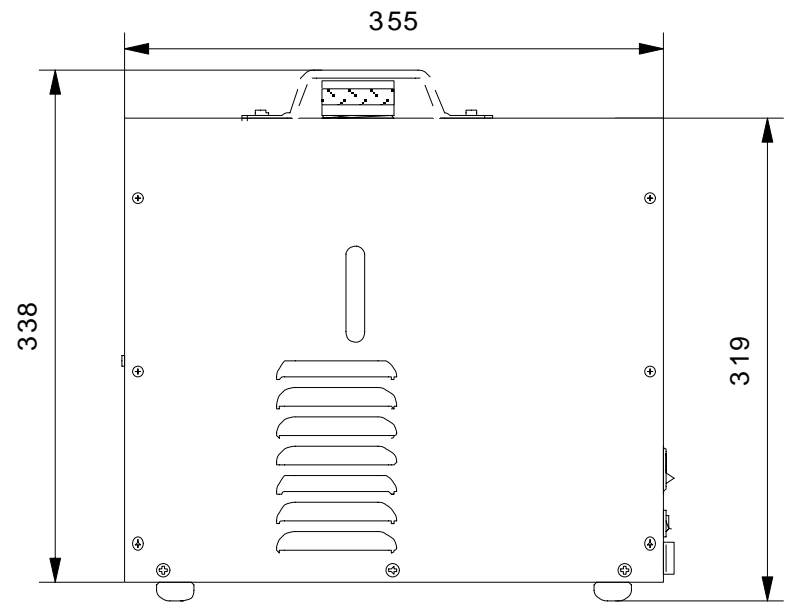
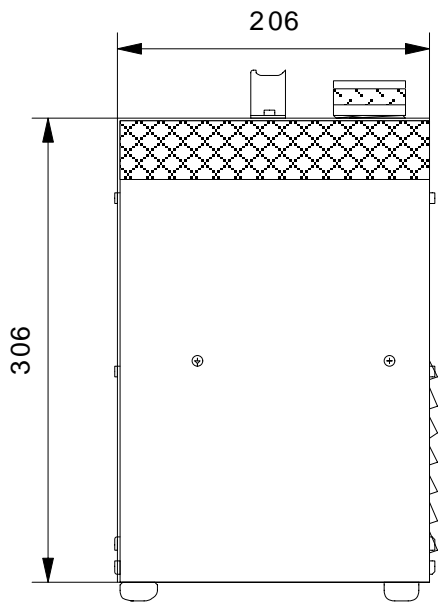
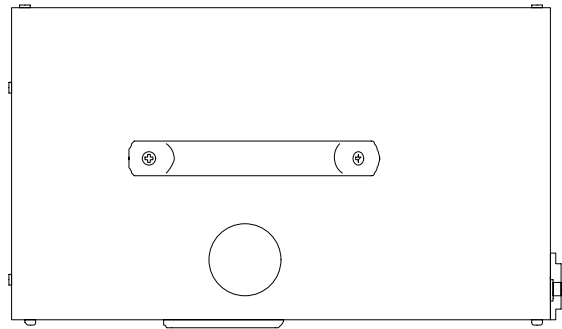
試験条件 温度(25℃) 湿度(63%) 気圧(765mmHg)

試験項目 引火点

試験方法 C. O. C. 法

試験結果

1回目 202℃	2回目 202℃	平均値 202℃
----------	----------	----------



TITLE	SCALE	DATE	THE ROCK CORPORATION
DF-50J		2003/2/28	